

●**新型コロナワクチン接種 2**

■**10代のコロナワクチン接種について：**

2021年5月31日よりファイザー社のコロナワクチンの接種対象者が「16歳以上の者」から「12歳以上の者」へ変更になりました。（ファイザー社と同じ mRNA タイプのモデルナ社のワクチンは18歳以上）

1) 日本において10代のワクチン接種における効果や安全性についてのデータは得られていません。ただし、海外の小児（12～15歳）への接種情報ではコロナワクチン2回接種後、ワクチン接種群では0/1119人に対して、ワクチンを接種していない群では18/1110人が新型コロナウイルス感染症を発症したという報告があり、予防効果が期待できません。

小児への感染の多くが保護者等からの家庭内感染、園・学校の教職員等からの感染など周囲の大人からの感染であることから、周囲の大人のワクチン接種が小児への感染機会の軽減につながります。

2) 高齢者に比べ年齢の若い方により多くの副反応が発現します。

3) ワクチン成分や接種手技とは直接関連性が薄い、接種時の緊張などからくるこの年齢特有の接種直後に起こる反応が生じる可能性があります。

4) 接種日時の設定によっては学校の授業や行事を休む必要が生じます。

5) 他のワクチン接種との調整が必要です：当院では小児の定期予防接種は行っておりません。

以上の事柄を鑑みて、当院では高校生（16歳以上）以上の方を接種対象といたします。

■**保護者の方へのお願い：**

1) 自治体からは「中学生以上の場合、予診票に保護者が署名することによって、保護者の同伴がなくてもワクチン接種をすることができる」、また「16歳以上の場合には、本人の同意のみで接種を受けることができる」としてはいますが、コロナワクチンは過去に経験のない予防接種であることから当院では20歳未満のワクチン接種は保護者同伴でお願いしております。

2) 過去にアナフィラキシーなどの重いアレルギー反応を起こしたことのある方は救急対応の整った病院でのワクチン接種をお勧めします。

■**16歳未満のワクチン接種について：**

12歳以上の方は、アレルギー歴やこれまでの定期予防接種の副反応等に精通した「小児科かかりつけ医」でのワクチン接種が望ましいと考えます。